

みまや通信

いわき市医療センター広報誌

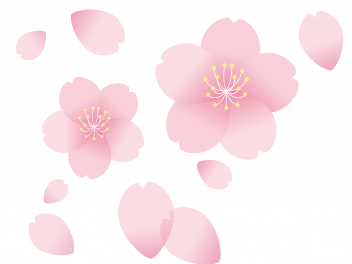
第19号

2023年6月



紹介

救命救急センター特集



CONTENTS | 目次

- 新年度のご挨拶 2
- 救命救急センター特集 3~5
- 新任医師のご紹介 6~9
- 外来担当医一覧 10~11



いわき市医療センター公式
Facebook

いわき市医療センター公式フェイスブックを開設しています!
ぜひ「いいね」をお願いします!



いわき市医療センター公式
Instagram

いわき市医療センター公式インスタグラムを開設しています!
ぜひ「いいね」をお願いします!

新年度のご挨拶



院長 相澤 利武

じ しんみょうしゅ 「慈心妙手」

～地域から信頼され進歩し続ける病院を目指して～

「いわき市医療センター」が開院してから、5年目の春を迎えました。

この間、特に「新型コロナウイルス感染症」の世界的パンデミックで、日本における医療提供体制のあり方が大きく問われることとなりました。当センターにおきましても、感染症患者の受入れ病床の常時確保や、感染拡大期には、国の方針に基づき緊急を要さない手術を延期するなど、平時とは異なる対応に迫られましたが、地域の中核病院として、通常医療と感染症医療の両立に向け、機動的な病院運営に努めるとともに、地域の医療機関や行政の皆様と協力しながら、この難局を乗り越えて参りました。

本年5月には、当該感染症の類型が見直されたほか、次年度には、医師の時間外労働規制、いわゆる「医師の働き方改革」の適用を控える等、医療を取り巻く環境は、大きな変革期を迎えていると感じています。

このような状況下にあります、当センターでは、

現在、県内で福島県立医科大学と当センターでのみ実施可能な心臓弁の最新鋭治療「マイトラクリップ（経皮的僧帽弁形成術）」を導入したほか、救命率向上を図るための「ドクターカー」の運用や、患者さんの急激な病態変化を察知し、心肺停止を未然に防ぐための仕組み「RRS (Rapid Response System)」を構築するなど、新たな取組みを順次開始しています。

さらに、本年秋には、患者さんの体への負担が少ない「手術支援ロボット」を導入します。

今後も、患者さんやご家族の皆様から、「いい病院にかかれてよかった」と言ってもらえるよう、「相手を慈しむ心を持ち、優れた医療技術を施す」という、当センターの基本理念である「慈心妙手」のもと、常に患者さんの視点に立ち、市民の皆様健康と生命を守る「最後の砦」として、安全で安心な医療を提供し、更なる進化を目指して参りますので、皆様のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

いわき市医療センターは、これからもスタッフ一丸となって、 更なる進化を目指します。



マイトラクリップ
(経皮的僧帽弁形成術) 手術



医療センター
ドクターカー



手術支援ロボット導入に
向けた検討会



院内RRS、院内BLS (一次救命処置) 講習



救命救急センターのご紹介



～地域の救急医療の「最後の砦」であるために～

当センターは、「総合磐城共立病院」時代から、本県浜通り地区唯一の「救命救急センター」を有し、主に地域の「三次救急医療」を担って参りました。

本誌で「救命救急センター」をご紹介するのは初めてですので、施設の特徴や、最近の取組みなどを中心にご紹介いたします。

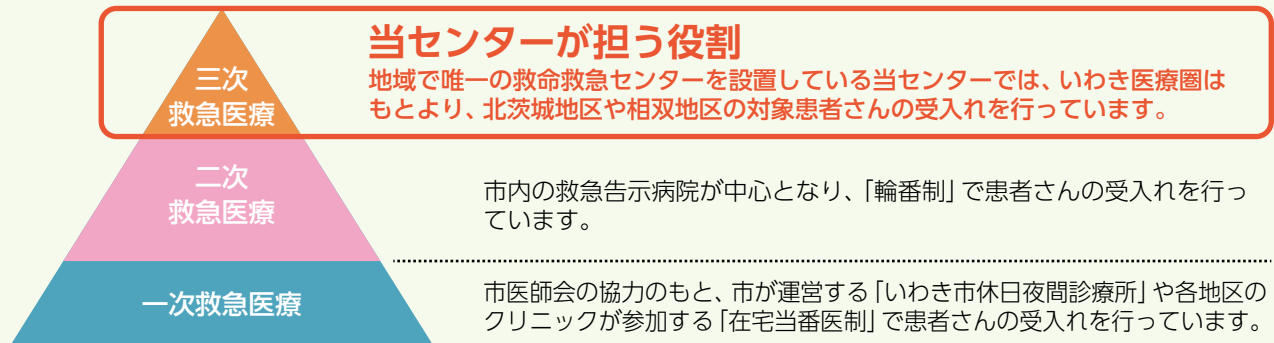
救急医療と当センターの役割

救急医療とは、「急病」や「けが」などが突発して起こり生命に危機が差し迫った状態にある患者さんを速やかに診察し、検査治療を行う医療です。

いつ何時に発症したかに関わりなく、時には診療科の垣根を越えて様々な診療科が協力することも必要となりますので、地域社会にとって、安全安心に生活するためのセーフティーネットの一つとして考えられているほか、近年は、災害医療にも大きく関わるようになってきました。

また、救急医療は、入院を必要としない患者さんが対象となる「一次救急医療」、入院や手術を要する患者さんが対象となる「二次救急医療」、重症度緊急度が高く、生命にかかわる患者さんが対象となる「三次救急医療」に区分されます。

地域で唯一の「救命救急センター」を設置している当センターは、主に「三次救急医療」を担っており、「急性心筋梗塞」や「急性大動脈解離」などの心疾患、「くも膜下出血」などの脳血管疾患をはじめ、全身にわたる大やけどや、内臓損傷が疑われる大けがなど、生命にかかわる患者さんの受入れを行っています。



屋上ヘリポートについて

共立病院時代は、夏井川河川敷等に整備されたヘリポートを使用し、そこから患者さんを救急車に乗せ換えて、当院まで搬送していました。

当センターの開院に併せて、屋上にヘリポートを整備し、ヘリポートと1階の「救命救急センター初期治療室」を専用エレベーターで直結しました。

これに伴い、搬送ヘリからダイレクトで患者さんを受け入れることが可能となり、搬送時間や治療開始までの時間が大幅に短縮されました。

また、福島県立医科大学や本県中通り地区の病院へ患者さんを転送する場合も、約20～30分以内で搬送することが可能となりました。

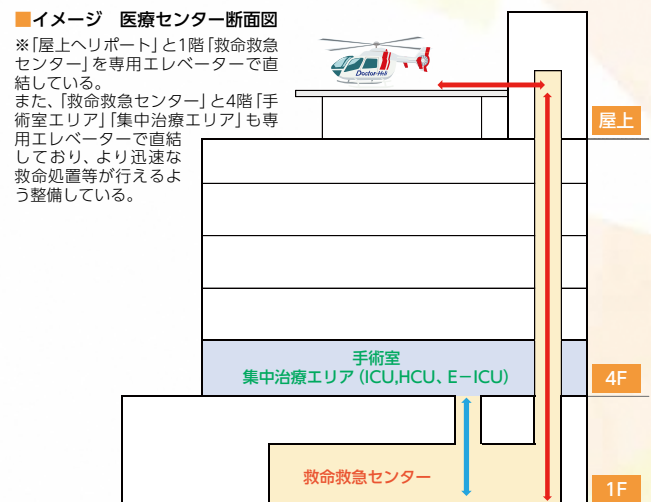
現在、平常時に屋上ヘリポートから離発着しているヘリコプターは、「ドクターヘリ」、「消防防災ヘリ」、「海上保安庁ヘリ」および「多目的医療用ヘリ」です。

「多目的医療用ヘリ」は、皆様には馴染みが薄いと思われるかもしれませんが、平成30年に双葉地域をはじめとした本県浜通り地区の救急医療の質の向上を目的に福島県が導入したもので、「ドクターヘリ」が生命の危機が切迫している患者搬送を担当するのに対し、「多目的ヘリ」は福島県ふたば医療センター附属病院が運航基地となり、比較的容態が安定している患者さんの搬送や、緊急輸血用血液の運搬などに利用されています。

これらのヘリを活用した患者さんの受入れと、他医療機関への搬送など、離着陸は年間で合わせて約50件となっています。

■イメージ 医療センター断面図

※「屋上ヘリポート」と1階「救命救急センター」を専用エレベーターで直結している。
また、「救命救急センター」と4階「手術室エリア」[集中治療エリア]も専用エレベーターで直結しており、より迅速な救命処置等が行えるよう整備している。



■救命救急センター初期治療室と4階「E-ICU」



■離着陸訓練及び傷病者の搬送訓練の様子

救急ワークステーションについて

「救急ワークステーション」とは、救急救命士に必要な教育と救急隊員の知識、技術の向上を主な目的とした教育拠点のことを言います。当センターでも、「消防との連携強化」、「病院前救護体制の充実」、「救急隊員への医学的教育」を目的として、救命救急センターに隣接するフロアに、24時間常駐可能なワークステーションを設置しています。

現在、「月・水・金曜日」の日勤帯に、救急救命士を含む救急隊員が常駐しており、救命救急センタースタッフと一緒に活動することで、医学的な知識の習得や救急救命士が行う「特定行為」の研鑽に励んでいます。

また、ワークステーションスタッフは「ドクターカー」にも同乗し、医師や看護師等と救急現場で医療活動を行うことで「病院前救護」の知識や技術を習得するとともに、緊急車両の運行や他の救急隊との連携確保、救急活動現場の安全確保など重要な役割を担っています。

病院前救護とは？

救急患者さんを救急医療機関に搬送するまでの間に初期治療を行いながら、様々な救急医療を行う体制のことで、「プレホスピタルケア」とも言われます。



左：救急ワークステーション内の様子

右：いわき市消防本部救急隊員（ワークステーション勤務時）

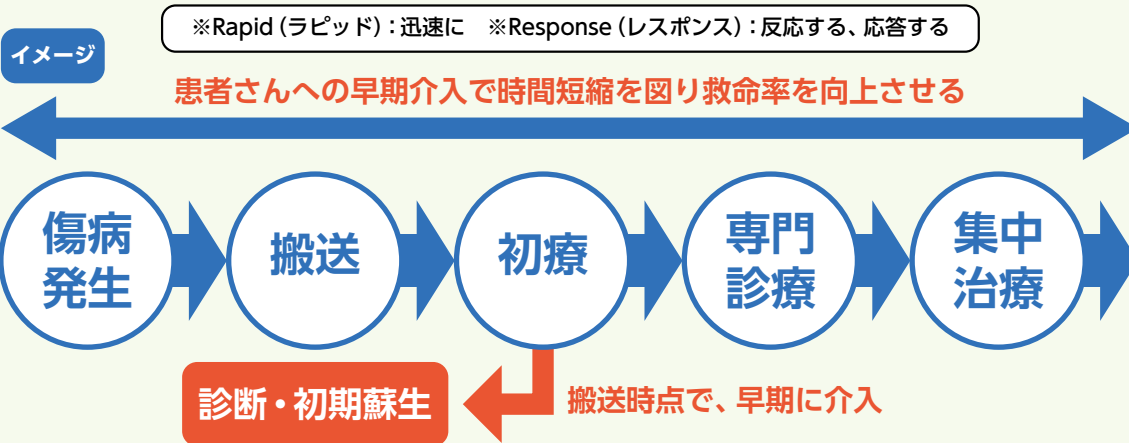
ドクターカーについて

当センターでは、「病院前からの医師介入による攻めの救急医療」をモットーに、昨年10月から、ドクターカーの運用を開始しました。

ドクターカー (Rapid Response Car) とは？

救急現場において、できるだけ早い医師の診断や処置が必要と判断された場合、消防本部からの要請を受け、医師・看護師等の医療スタッフが、必要な医療器材を搭載し、現場に急行するための緊急自動車です。

当センターでは、患者さんに1秒でも早く介入して、救命率の向上や、後遺症の軽減を図るため、医師や看護師等で構成する「ラピッド・レスポンス・チーム (RRT)」が、いち早く現場に急行します。「迅速な診断・初期蘇生」を行うために可能な範囲で運行していきます。



ドクターカーのご紹介

ステーションワゴンタイプは、現場に急行するため機動性を重視し、高規格救急車タイプは、車両内に様々な医療機器を搭載するなど、患者さんの状況等により使い分けしています。



■ステーションワゴンタイプ



■救急車タイプ



ドクターカー出動の流れ

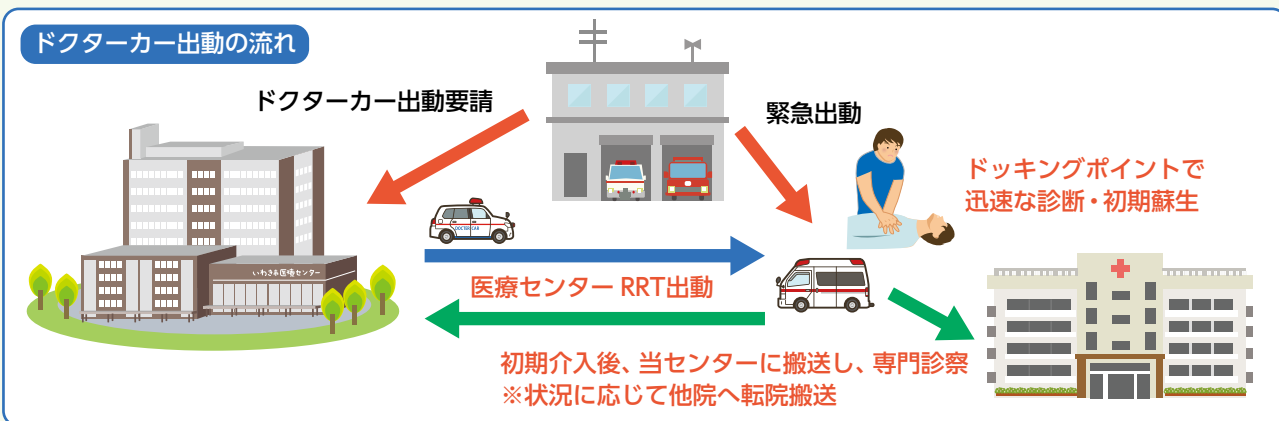
大きな事故や急病者等が発生した際に、救命医等が現場に急行する方法は、大きく2つあります。

一つ目は「ピックアップ方式」で、消防署から出動する救急車が当センターを経由し医師を乗せて救急現場へ向かいます。その後、現場に先着している救急隊と合流し、治療を行いながら病院へ搬送する方式です。

この方式は、1人の患者さんに救急車を2台使用することになり、消防の負担が増すほか、ドクターカーに比べて、救急医等の出動までに時間を要するなど、やや迅速性に欠ける等の課題があります。

二つ目は「ワークステーション方式」で、「救急ワークステーション」に勤務する救急隊員と当センターの救命医等が、当センターのドクターカーで出動し、現場に先着している救急隊と合流するものです。この方式は、消防署から出動する救急車と同時にドクターカーも出動できるため、より迅速に患者さんへの治療に介入することが可能となります。

現在は、この2つの方式を併用する運用としていますが、今後、運用時間の延長や、ドクターカーをメインとした運用を目指すなど、救命率向上に向けた取組みを、さらに進めていきます。



院内迅速対応システム (RRS : Rapid Response System) について

皆様は、「コードブルー」という言葉をお聞きになったことはあるでしょうか。テレビドラマのタイトルにも使われ、ご存知の方もいらっしゃると思います。

「コードブルー」とは、院内で患者さんに急変がある場合等に用いられる緊急コールのことです。

それに対し、「RRS」は、急変が起こる前に患者さんの呼吸や意識など「何か様子がおかしい・・・」と気づき、異変や急変の前兆がみられた段階で、迅速に専門の医師や看護師が治療に介入するシステムです。

これに伴い、「コードブルー」に基づいて治療を開始する場合に比べて、生存率等が大きく向上すると言われています。

患者さんの安心・安全につながるために、院内に勤務する全てのスタッフが、患者さんの異変に気付くスキルを身に付けることが重要となりますので、現在、救命医と救急認定看護師を中心とした「RRSチーム」を立ち上げ、全ての院内スタッフへの教育を進めています。



■RRS勉強会の様子



■救命救急センタースタッフ（医師）



最後に

地域の限られた医療資源を有効に活用しながら、今後も、浜通り地区の救急医療を守っていくためには、当センターだけでなく、地域の医療機関の皆様や消防本部等行政の皆様との連携が必要不可欠であると考えています。

これからも、地域の皆様と手を取り合いながら、全力で走り続けて参ります。

〈執筆者紹介〉

小山 敦 医師

平成15年、総合警城共立病院に着任
平成16年、救命救急センター長に就任
現在に至る。



新任医師紹介



～赴任した新しい医師を紹介します～



- ①出身大学 ②専門分野(研修医以外) ③趣味 ④一言

消化器内科



おりうち まさよし
織内 優好 医師

- ①東北大学
- ②上部消化管分野
- ③ピアノ
- ④先日、医学博士となりました。日々を楽しく過ごしていきたいと思えます。

循環器内科



いし い かずのり
石井 和典 医師

- ①浜松医科大学
- ②循環器内科一般
- ③ジョギング
- ④迅速かつ、安全、丁寧な診療を心がけております。よろしくお願い致します。

血液内科



ふくち こういちろう
福地 恒一郎 医師

- ①福島県立医科大学
- ②血液内科学
- ③特になし
- ④よろしく申し上げます。

心療内科



きだ さとし
木田 智士 医師

- ①群馬大学
- ②心療内科
- ③スポーツ観戦
- ④1年ぶりに医療センターに戻って参りました。いわきの医療を支えられるよう頑張ります。宜しくお願い致します。

整形外科



かめ やま りょういち
亀山 諒一 医師

- ①北里大学
- ②整形外科
- ③バスケットボール、マンガ、YouTube(ゲーム実況など)
- ④いわき市の皆様はじめまして亀山と申します。いわき市の皆様に元気に過ごしていただくため日々精進致します。

整形外科



くら た ひろたか
倉田 洸孝 医師

- ①山梨大学
- ②整形外科一般
- ③音楽
- ④運動器疾患を通して皆さまの生活をより良くできるよう励みます。

整形外科



さ さ き よう いち
佐々木 陽一 医師

- ①岩手医科大学
- ②整形
- ③リクガメの世話、飲酒
- ④いわきは初めてです。色々出かけてみようと思います。よろしくお願いします。

整形外科



すが はら しょうご
菅原 渉瑚 医師

- ①山形大学
- ②整形外科
- ③キャンプ、カラオケ、食べ歩き
- ④気軽に話しかけて下さい。1年間よろしくお願いいたします。

形成外科



て ぐち まどか
手口 円花 医師

- ①筑波大学
- ②形成外科
- ③思いつきません
- ④4月からお世話になっております形成外科の手口と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

形成外科



い で せいや
井出 成哉 医師

- ①杏林大学
- ②形成外科
- ③野球、バスケ、ゴルフ
- ④筑波大学形成外科から参りました井出成哉です。わからないことだらけですが、一生懸命取り組みたいと思います。

脳神経外科



はやし てつ や
林 哲哉 医師

- ①北海道大学
- ②脳神経外科全般
- ③スポーツ
- ④いわきの医療に貢献できるよう精進いたします。

泌尿器科



ます ざわ たろう
増澤 太郎 医師

- ①東北大学
- ②泌尿器
- ③写真
- ④気仙沼から赴任してきました増澤と申します。至らない点が多々あるとは思いますが、何卒よろしくお願いいたします。

歯科口腔外科



く はら けいすけ
久原 啓資 医師

- ①北海道医療大学
- ②歯科、歯科口腔外科
- ③のんびりすること
- ④1日1日をしっかり頑張りたいと思います。



外科



こう やま あつ し
神山 篤史 医師

- ①東北大学
- ②外科
- ③特にないですね…
- ④最善最良の医療を提供できるように日々精進していきます。

外科



すず き ひろあき
鈴木 大聡 医師

- ①秋田大学
- ②消化器外科、救急
- ③サックス
- ④生まれ育ちがいわき市で、約20年ぶりに帰ってきました。いわきに貢献できるのが楽しみです。

外科



むら た よしひさ
村田 佳久 医師

- ①獨協医科大学
- ②外科
- ③サッカー、料理
- ④至らぬ点もあるかとは思いますが、精一杯頑張りますので、よろしくおねがいいたします。

呼吸器外科



えん た あきお
遠田 晶生 医師

- ①福島県立医科大学
- ②呼吸器外科
- ③釣り
- ④1年ぶりに医療センターに戻って参りました。地域の皆様のお力になれるように精進致します。

小児外科



たき ぐち かずあき
滝口 和暁 医師

- ①福島県立医科大学
- ②小児外科
- ③読書、スノーボード
- ④精一杯頑張ります。よろしくお願いたします。

小児科



おき むら まさと
沖村 聖人 医師

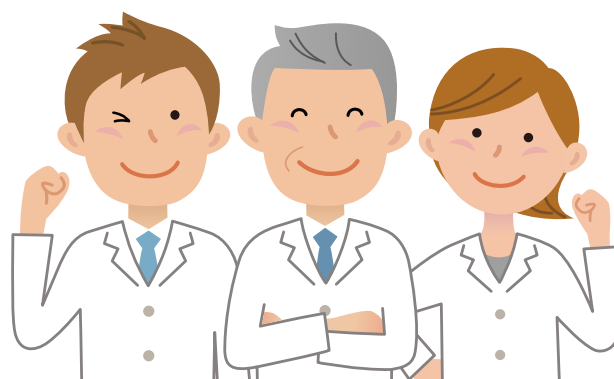
- ①秋田大学
- ②小児科
- ③釣り
- ④小児科に赴任しました沖村聖人です。岩手県出身で大学は秋田大学です。よろしくお願いいたします。

麻酔科



いけ がみ ゆきひろ
池上 之浩 医師

- ①福島県立医科大学
- ②麻酔科
- ③特にありません
- ④地域医療に貢献できるよう努力させていただきます。



研修医



左上から
山田医師、狩野医師、洪 医師、
通野医師、清水医師、蛭田医師、
古矢医師、新垣医師、藤原医師、
星 医師、園部医師、小坏医師

あら かき ゆう か
新垣 祐香 医師

①日本医科大学 ③テニス、スキー、スノボ
④研修医として2年間お世話になります新垣祐香です。2年間で多くの事を学びたいと思います。よろしくお願いいたします。

こう ひろ と
洪 浩都 医師

①福島県立医科大学 ③バスケットボール
④いわき市の医療に少しでも貢献できますよう、日々、一生懸命に研修に取り組んで参ります。

しみず ひろあき
清水 弘明 医師

①東北大学 ③写真、カレー、登山
④初めていわきに移り住みました。いわきの医療に貢献できるよう頑張りますので、よろしくお願いいたします。

つう の しゅう
通野 秀 医師

①東北大学 ③おいしいものを食べること
④初めまして。いわきの皆さんに貢献できるよう頑張りますのでよろしくお願いいたします。

ふじわら ふう こ
藤原 風子 医師

①旭川医科大学 ③料理、献血
④2年間研修医としてお世話になります。いわき市の医療に貢献できるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。

ほし ようすけ
星 陽介 医師

①福島県立医科大学 ③旅行
④福島市から来ました星陽介と申します。出身は会津です。精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。

かり の しょうご
狩野 将吾 医師

①福島県立医科大学 ③バスケットボール
④2年間、研修医としてお世話になります。地元であるいわき市の医療に貢献できるように精一杯頑張ります。

こあくつ はや と
小坏 隼人 医師

①福島県立医科大学 ③テニス
④2年間研修医としてお世話になります。いわき市の医療に貢献できるよう、精一杯頑張ります。

その べ かず き
園部 和樹 医師

①岩手医科大学 ③サーキット、ピアノ、釣り
④いわき市出身の医師として患者様に貢献できるよう全力でがんばります。よろしくお願いいたします。

ひる た ともひろ
蛭田 知宏 医師

①福島県立医科大学 ③ポケモンGO
④2年間研修医としてお世話になります。地元であるいわき市の医療に貢献できるよう、精一杯頑張ります。

ふる や の の か
古矢 野々香 医師

①福島県立医科大学 ③ごはんを食べること
④2年間研修医としてお世話になります。いわき市の医療に貢献できるように頑張ります。

やま だ あや か
山田 彩加 医師

①福島県立医科大学 ③旅行、テニス
④いわき市の医療を支える一員になれる様、誠実さと素直さを忘れず努力します。よろしくお願いいたします。

外来担当医一覧



区分	ブース名	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
◆ 内科 ※IBD=炎症性腸疾患 糖=糖尿病科外来 内=内分泌科外来 ※一つの欄に複数の名前がある場合は、記載の医師が当番制により担当します。 ※禁煙外来は、患者サポートセンターを通しての予約となります。											
内科一般(新)	E09	油井 満		油井 満	油井 満 禁煙外来14:00	(当番制)			油井 満		(当番制)
消化器(新)	E08	高橋 成一		池谷 伸一 織内 優好 (交代)		越後 紘治 小針 圭介 (交代)		高井 智剛 猪狩 剛 (交代)		土佐 正規 池田 智之 (交代)	
消化器内科	F31									上野 孝治	
	F33									高橋 成一	
	E11	池田 智之				中山 晴夫		池田 智之		越後 紘治	
	E12			高井 智				池谷 伸一		猪狩 剛	
	E13				土佐 正規 IBD専門	土佐 正規	高橋 成一 IBD専門	織内 優好		小針 圭介	
循環器内科	F22	山本 義人 (新患)		瀬川 将人	第1・3 ペースメーカー	山下 文男		山本 義人 (第1・3)	山本 義人 (第2・4) 14:00~	塙 健一郎	
	F23	工藤 俊		杉 正文	第2・4 ICD	土屋 聡		杉 正文 (新患)		野木 正道	
	F24	石井 和典		隈部 将太		則政 颯		渡辺 翼			
糖尿病・内分泌科	E17					國井 智史		齋藤 道也 禁煙外来(第2・4)		大 学 (交代)(糖)	
	E18						渡辺 崇 (糖)			齋藤 悠 (糖)	
血液内科	F32	阿久津和子		阿久津和子		濱崎 洋一		濱崎 洋一		濱崎 洋一	
脳神経内科	E11			大 学							
	E15			大 学 (第2・4)						阿部 康二 (第2・4)	
心療内科	F25	岩橋 成壽		岩橋成壽		岩橋 成壽		岩橋 成壽		岩橋 成壽	

ブース名	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
◆ 小児科【午後(専門外来診察)は完全予約制】 ※循=循環器 血=血液 内=内分泌 ア=アレルギー 新=新生児発達 1=1ヶ月児健診 予=予防接種 ※腎=腎臓 神=神経										
B41	鈴木 潤	森島 重弘	鈴木 潤	八重樫未来	鈴木 潤	遠藤 起生	鈴木 潤	遠藤 起生	鈴木 潤	
B52	八重樫未来	石井 まり	八重樫未来		野寺 真樹	神	野寺 真樹	藤江 弘美	神	藤江 弘美
B53	沖村 聖人		沖村 聖人		大原信一郎	腎内	沖村 聖人			八重樫未来
B54	(交代)		(交代)		八重樫未来	鈴木保志朗	(交代)	鈴木保志朗	腎	(交代)
B43				本田 義信	新	八重樫未来	予			本田 義信

◆ 小児外科 ※月曜日午後の診察は、午前中の手術の状況により休診する場合があります。										
B44	(手術)	神山 隆道	佐野 信行		(手術)	神山 隆道	神山 隆道		(手術)	佐野 信行
B45		佐野 信行	滝口 和暁			滝口 和暁	滝口 和暁			滝口 和暁

◆ 皮膚科 ※火曜日の診察は10:00からになります。										
F42			非常勤	非常勤	非常勤					

◆ 心臓血管外科										
F33	遠藤 由樹	入江 嘉仁		入江 嘉仁	遠藤 由樹	中野渡 仁				
F34	中野渡 仁	深田 靖久			深田 靖久					

◆ 呼吸器科 ※内=内科 外=外科 ※呼吸器内科は、全て再来診察のみとなります。										
B22			(手術)					福原 光朗(外)		
B23	高木 玄哉(外)									大 学(外) (院内紹介)(第1・2・4・5)
B24	大 学(外) (院内紹介)(月1回)									
B25	大 学(内)									大 学(内)
B26			大沼 菊夫(内)					大沼 菊夫(内)		

◆ 外科										
A16	川口 信哉		川口 信哉		川口 信哉		白相 悟		吉田 寛	
A17	小林 直哉		白相 悟		根本 紀子 (乳腺)		河野えみ子		永井 有	
A18	新谷 史明		吉田 寛		鈴木 大聡		佃 和彦		村田 佳久	
A19	根本 紀子 (乳腺)		佐藤 正樹		九里 孝雄 (甲状腺)		乳腺外来・非常勤 (第2・4)		根本 紀子 (乳腺)	
A14			神山 篤史				吉町 信吾			
A13			藤川奈々子				藤川奈々子			

◎学会や緊急手術等により急遽変更になる場合がありますので、予めご了承ください。

◎当センターでは予約診察を行っており、表中の 部は予約優先（一部完全予約制）となります。
 詳細は各診療科でご確認ください。

令和5年6月～

 = 予約診察

フース名	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日		
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
◇ 形成外科 ※形成外科は日にち予約となります。											
F36		檜垣 仁志		檜垣 仁志		(当番制) 14:00 ~		檜垣 仁志		明星 里沙	
F37		明星 里沙		明星 里沙				明星 里沙		手口 円花	
F38		手口 円花		手口 円花				井出 成哉		井出 成哉	
F42		井出 成哉						手口 円花			
◇ 産婦人科 ※初診の場合は、かかりつけ医からの紹介状が必要です。											
F51	(交 代)		金杉 優		西山 浩		西山 浩		西山 浩		
F55	本多つよし		本多つよし	浅井 隆之	本多つよし		本多つよし	金杉 優	本多つよし		
F62	(交 代)		大関 健治		金杉 優		大関 健治	浅井 隆之	大関 健治		
F64	三瓶 稔		清野 恭子	1ヶ月健診	三瓶 稔		清野 恭子		三瓶 稔		
◇ 整形外科 ※脊=脊椎 外=外傷・骨折 手=手外傷 足=足外傷 肘=肘外傷 肩=肩関節 股=足・股関節 膝=膝関節・スポーツ ス=スポーツ 腫=腫瘍 骨=骨粗しょう症 ※初診の場合は、かかりつけ医からの紹介状が必要です。											
A01	安永 亨 足	-			安永 亨 膝	-		高橋 忠久 骨	-	安永 亨 膝	-
A02	佐々木陽一 -	-	倉田 洸孝 -	-	笹島 功一 外	足		笹島 功一 外	足	秋山 優人 膝	-
A06	中村 正隆 脊	-			箱崎 道之 腫	-				中村 正隆 脊	-
A07	相澤 利武 肩	股			相澤 利武 肩	股				相澤 利武 肩	股
A08	松澤 岳 肩	股			松澤 岳 肩	股	秋山 優人 膝	-	菅原 涉瑚 -	-	倉田 洸孝 -
A09	亀山 諒一 -	-			菅原 涉瑚 -	-				大谷 晃司 脊	-
A14											
◇ 脳神経外科											
A12	鈴木 保宏			(手 術)	鈴木 保宏			(手 術)	鈴木 保宏		
A13	二宮 敦彦			(手 術)	二宮 敦彦			(手 術)	二宮 敦彦		
◇ 泌尿器科 ※水曜日は、新患の診察は行っておりません。											
B31	(交 代)		徳山 聡		徳山 聡	(手 術)		徳山 聡		増澤 太郎	
B32		(手 術)	上野 誠司		竹田 篤史	(手 術)		上野 誠司		上野 誠司	
B33		(手 術)		竹田 篤史	上野 誠司 増澤 太郎 交 代	(手 術)		増澤 太郎		竹田 篤史	
◇ 眼科 ※毎月第2水曜日の午後は小児外来のみとなります。											
E04	齋藤 昌晃		齋藤 昌晃		齋藤 昌晃		齋藤 昌晃		齋藤 昌晃		
E03		大 学		手術 検査・治療 (予約のみ)	大 学	検査・治療 (予約のみ)		非常勤	手術 検査・治療 (予約のみ)	大 学	検査・治療 (予約のみ)
E02		検査・治療(予約のみ)									
◇ 耳鼻咽喉科【完全予約制】											
G02	(交 代)		西條 聡		(交 代)			西條 聡		西條 聡	
G03	(交 代)		久嶋 郁人		(交 代)			久嶋 郁人		久嶋 郁人	
G04	(交 代)		鶴沼むつ貴	検 査	(交 代)			鶴沼むつ貴	処置 小手術	鶴沼むつ貴	腫瘍外来
G05	(交 代)		戸塚 大幾		(交 代)			戸塚 大幾		戸塚 大幾	
◇ 歯科口腔外科 ※午後は予約診療となります。											
G14	内藤 博之				内藤 博之			佐藤 浩子		久原 啓資	
G16	佐藤 浩子	(外来手術)		(手 術)	佐藤 浩子	(外来手術)		内藤 博之	(外来手術)	内藤 博之	(外来手術)
G17	久原 啓資				久原 啓資			久原 啓資		佐藤 浩子	
◇ 麻酔科 ※01=術前評価 02=ペインクリニック ※当番制=麻酔科医師が当番制で担当します。 ※月～木曜は、日にち予約となります。											
4階 01		術前評価(交代)		術前評価(交代)		術前評価(交代)		術前評価(交代)		術前評価(交代)	
4階 02										飯嶋 千裕	
◇ 放射線治療科											
04		藤本 圭介	藤本 圭介		藤本 圭介	非常勤(新患)	非常勤(再診)	藤本 圭介			
◇ 緩和ケア内科											
A18		阿部 道夫								池谷 伸一	
A12							渡邊 睦弥(第1・3)				
◇ 透析センター外科											
F31			小柴 貴明					小柴 貴明			



編集後記

写真は、4月11日に行われた、手術支援ロボット「da Vinci (ダヴィンチ)」のデモンストレーションの様子です。

ダヴィンチによる低侵襲手術(体への負担が少ない手術)については、ここ数年で全国的にも急速に普及が進んでおり、当センターでは、本年秋からの運用を予定しております。

今後のみまや通信の中で、ダヴィンチについて詳しくご紹介していきますので、楽しみにしてください。

基本理念

「慈心妙手」

わたしたちは、市民の健康と生命を守るため、安全で安心な医療を提供し、地域から信頼され、進歩し続ける病院を目指します。

「慈心」(じしん)

相手を慈しみ思いやる気持ちで患者さんに接すること。

「妙手」(みょうしゅ)

優れた医療技術で診察、治療を行うこと。

基本方針

- 1 浜通り地区の中核病院としての役割を担います。
- 2 地域と連携し、高度医療、先進医療、救急医療の充実に努めます。
- 3 明日を担う医療従事者を育成します。
- 4 患者さんと職員との信頼関係を築くことに努めます。
- 5 安全で安心な医療を提供するため「チーム医療」を実践します。
- 6 自治体病院として良質な医療の提供と健全経営に努めます。

